

平成30年7月29日  
今週のベストショット



雁レク7 ソルトベイスターズ 対 新町ウインズ戦  
4打数3安打2HR4打点を挙げたソルトベイスターズ三番井浦選手。  
写真：三友クラブ 大坪 和則

**奈多グラウンド 三苦フレンズ山口投手盤石のピッチングで勝利！**

三苦フレンズ（7勝1敗）120003 6 山口、太田○-佐藤（由）

ブルーマーリンズ（7敗）000002 2 横山（祥）●-横山（健）

**2BH**：山口、御手洗（文）（三苦フ）、井上（広）（ブルー） **盗塁**：吉村（雄）2、寺山（三苦フ）

一回表の三苦フレンズは一番山口選手が二塁打で出塁すると、連続四球で無死満塁のビッグチャンスを作り、四番松尾選手に打席が回るも力みすぎて遊飛。しかし五番佐藤（由）選手センターへ犠飛を放ち1点先制。なおも、チャンスが続くが六番佐藤（博）選手は三振。一回裏ブルーマーリンズは三者連続三振で、三苦フレンズ山口投手の圧巻のピッチングショーの幕開け。二回表三苦フレンズは、七番篠原選手がレフト前、八番御手洗（文）選手が四球、九番寺山選手がヒットで初回に続き無死満塁の絶好のチャンス。ここで横山投手のワイルドピッチで労せず1点。なおも無死二三塁で一番山口選手は遊飛で一死。二番吉村（雄）選手の遊ゴロをブルーマーリンズ児玉遊撃手が軽快にさばきバックホームで三塁走者をタッチアウト。しかし三番生野（拓）選手のファースト内野安打で三塁走者が還り1点追加。なおもチャンスで三塁走者がホームスチールをしたがタッチアウトとなりこの回2点止まり。再三のピンチにおける横山投手の粘りのピッチングにブルーマーリンズ打線が応える。二回裏ブルーマーリンズは四番糸井選手が四球、五番井上（広）選手が山口投手のチェンジアップをとらえて二塁打を放ち無死二三塁。リーグ1位の防御率0.29を誇る好投手の山口投手から絶好の反撃のチャンスを作った。しかし、ここから山口投手の本領発揮。続く六、七、八番を三者連続三振に切って取り和白リーグNo.1投手の実力を見せつけた。三回から五回までは山口投手と横山投手の息詰まる投手戦が展開され3-0のまま迎えた



六回の攻防。六回表の八番御手洗（文）選手が四球を選び、ワイルドピッチで三塁に進塁、続く九番寺山選手も四球で出塁してワイルドピッチが重なり1点追加。寺山選手も三塁に進塁。一塁ゴロでさらに1点追加。この回は四球やワイルドピッチが重なりもう1点追加して計3点。ここまで粘り強く投げていた横山投手、最後に力尽きたが称賛に値する投球だった。六回裏フレンズは山口投手に代わり太田投手。ブルーマーリンズは九番横山（祥）選手は、太田投手が制球に苦しむ中、きっちりと四球を選ぶ。一番児玉選手、二番末松選手も四球を選び無死満塁と反撃のチャンスを作った。続く三番横山選手のセカンドゴロWプレイの間に1点を返す。更に四番糸井選手がセンター前ヒットで1点返したが反撃もここまで、6-2で三苦フレンズの勝利。三苦フレンズの山口投手は実力通りのピッチングでした。また、ブルーマーリンズ横山投手の山口投手に負けず劣らず粘り強いピッチングが印象に残りました。ナイスゲーム！（記事・写真：和自新町パイレーツ 田村 正博）



試合前に火花を散らす両監督。



粘り強いピッチングのブルーマーリンズ横山投手。



圧巻のピッチングで魅せたフレンズ山口投手。



華麗な守備で再三のピンチを救った児玉選手。



シュアな打撃を披露した山口投手。



二塁打を放つも転倒してアウトで苦笑いの御手洗（文）選手。





代打で登場して豪快なスイングを披露した御手洗（カ）選手！



ディレードスチールで頭腦的なプレーを魅せた寺山選手。



同じ地区対決を終え健闘を称え合う両チーム。

### 青松園B 強風の中、引き締まった好ゲームを制したのは・・・。

雁の巣ライナース（4勝2敗1分）000050 5 有馬○ー明瀬（航）

奈多フェニックス（3勝4敗）200011 4 太田●ー実延（新）

HR：明瀬（旭）（雁の巣）3BH：太田、宇野（雁の巣）2BH：明瀬（旭）、明瀬（航）（雁の巣）

台風接近の為、強風の中行われた雁の巣ライナース対奈多フェニックスの試合。一回表ライナース一番明瀬（旭）選手がいきなり右前ヒットで俊足を活かし二塁打として早速チャンスを迎えるも、後続が倒れ無得点。一回裏フェニックスは2四球で二死二塁とし、五番実延（新）選手が中前タイムリーを放ち先制。なおも一三塁のチャンスで六番実延（彰）選手も中前タイムリーで2点目。二回表ライナースは、二死ランナー無しから七番今林（颯）選手が打った難しい投ゴロを先制したフェニックス太田投手が見事なフィールディングを見せる。どうしても得点を取りたいライナースは三回表、八番太田選手が初球を左中間へ運び一気にホームを狙うも、フェニックスの見事な中継プレーでタッチアウト。直後九番池内選手が左前ヒットを放ち、後続も送りバントと2四球を選び二死満塁の絶好のチャンスを迎える。ここで四番宇野選手の強烈なサードゴロを今林（英）三塁手選手が体を張ったプレーでピンチを凌ぐ。四回表にもライナースは2本のヒットでチャンス迎えるが太田投手の粘りのピッチングの前に得点が奪えない。しかし五回表ライナースの反撃が始まる。先頭の一番明瀬（旭）選手の右中間を破るHRで1点を返すと、一死後三番久保田選手が四球、四番宇野選手の三塁打で遂に同点。更に五番明瀬（航）選手が二塁打を放ち逆転。更に更に六番山本選手が左前タイムリーを放ち4点目。その後エラーが重なり5点目。逆転されたフェニックスは五回裏2四球でチャンスを掴み、三番能丸選手が左前タイムリーで1点を返す。続く四番安藤選手が放ったセンターへの大飛球をライナース今林（颯）選手がジャンピングキャッチ！チームを盛り立てる。六回裏にもフェニックスは2本のヒットで1点差まで追い上げたが、一步及ばず試合終了。悪天候の中、両チームとも追いつ追われつ的好ゲームを繰り広げた。（記事：奈多クラブ 久保 隆司、写真：今林 辰也）





奈多フェニックス先発の太田投手。



雁の巣ライナーズ先発の有馬投手。



一回裏、実延新吾選手の適時打で先制のホームイン今林英二選手。



一回裏、弟に負けじと実延彰洋選手の中前タイムリー。



三回表、二死三塁のチャンスに四番宇野選手三塁ゴロに倒れる。



五回裏、先頭打者でHRを放った明瀬旭選手。



五回裏、四番宇野選手センターオーバーの同点三塁打。



五回裏、五番明瀬航選手の逆転二塁打。





五回裏、続く六番山本選手もタイムリーヒット。



最終回六回裏、1点差迫る一番今林英二選手の犠牲フライ。



今日のヒーロー再三の攻守の今林颯太選手、HRの明瀬旭選手、三塁打の四番宇野選手。

### 雁レク7 若手とベテランが活躍しソルトベ이스ターズが勝利！

ソルトベ이스ターズ（2勝5敗）4 1 0 1 0 3 0 9 中村(耕)○ー大門

新町ウインズ（4勝3敗）0 1 2 0 2 2 1 8 早田、藤田●ー今林

HR：井浦2、野口（ソルト） 今林（新町ウ） 3BH：永渕（新町ウ） 2BH：中村(耕)（ソルト）

盗塁：安藤2、桐島3、泉(圭)（新町ウ）

台風の影響での風がある中、先発はウインズ早田投手、ソルトベ이스ターズ中村(耕)投手で試合は始まった。初回、ソルトは二番石井選手がライト前ヒットで出塁すると三番井浦選手がショート頭上をライナーで越え左中間を破る2ランHRを放ち、2点を先制！中村(耕)選手の適時二塁打もあり計4点を挙げる。二回表も中村(耕)選手の適時打で二回表の段階で5点をリードする。早く追いつきたいウインズは、二回裏に先頭の泉(圭)選手のヒットを足掛かりにWスチールで1点、三回裏に今林選手の大きくレフトを超える2ランHRで2点を追加し三回を終わった時点で5-3とした。三回からウインズのピッチャーは早田投手から藤田投手に交代し、ソルトベイスターズ打線を抑えたいところだが、四回表、三番井浦選手がセンターを超えるこの日2本目となるHRを放ち3点差。どうにかしたいウインズは五回裏、二番宮原選手が出塁すると、四番桐島選手のセンター前タイムリ



一で1点を追加。その桐島選手も盗塁と相手のエラーもありホームに返り、この回2点を返す。五回裏時点で6-5とベ이스ターズが僅差でリードした。そして六回表、ベ이스ターズは一番吉田選手が内野安打で出塁すると三番井浦選手のこの日4打点目となるヒット、続く四番野口選手のライトを大きく越える2ランHRで3点を追加。ウインズを4点差と突き放した。その裏ウインズは一番安藤(一)選手がセーフティバンドですかさず盗塁すると二番宮原選手のセンター前ヒットでホームに返り1点。その宮原選手も内野ゴロの間にホームに返り更に1点を追加。6回が終わった時点で9-7とベ이스ターズが2点のリード！七回表、ベ이스ターズは無得点となり、ウインズの攻撃となる。先頭六番永淵選手は粘ってセカンド二塁側への鋭いゴロを放ったが、ソルト二塁手眞弓選手が捕るまでは良かったが送球できず、無死一塁となる。続く七番松岡選手は一塁横へのゴロを放つ！これもベ이스ターズ一塁手森選手は捕るまでは良かったが、一塁にタッチ間に合わず無死一三塁となり、ウインズのチャンスとなる。一死後、九番渡辺選手の内野ゴロの間に永淵選手がホームに返り1点差とする。そして一番に返り、安藤選手がこの日3本目となるセーフティバンドを決めて二死一二塁の同点のチャンスとなる！続く二番宮原選手の打球はサード前の緩い打球！ヒットになれば同点につながるころだったが、ベ이스ターズ三塁手井浦選手が捕って素早く一塁に送球、アウトとしゲームセット！僅差ながらソルトベ이스ターズの勝利となった。9-7の点の取り合いになったが、両チームとも風が強い中での外野が確実に捕球したのは素晴らしかった。また若手選手の攻守にわたる活躍と若手に負けじとベテラン達の奮闘が噛みあい勝利につながったベ이스ターズは素晴らしかった。(記事：三友クラブ駄原孝一郎、写真：大坪和則)



新町ウインズ先発の早田投手。



ソルトベ이스ターズ先発の中村(耕)投手。



一回表、先制2ランHRを放つソルト井浦選手。



二回表、レフト前ヒットを放つソルト大門選手。





二回裏、センター前ヒットを放ったウインズ泉(圭)選手。



二回裏、セーフティバンドを決めるウインズ安藤(一)選手。



三回表、早田投手に代わりマウンドに立つウインズ藤田投手。



三回裏、2ランHRを放つウインズ今林選手。



五回裏、タイムリーヒットを放つウインズ桐島選手。



六回表、タイムリーでホームに戻るソルト吉田選手。



六回表、2ランを放ち笑顔でホームインのソルト野口選手。



七回表、センター前ヒットを放つソルト松浦選手。





七回裏、今日2安打で何とかしたいウインズ永淵選手。



七回裏、素早い送球でアウトにしたソルト井浦三塁手。

### 青松園A 残り1分

三苫ホーネッツ（6勝1敗1分）000 000 0 川原●—広木

三苫三球会（4勝3敗1分）000 001 1 池上○—藤澤

7月最後の青松園Aの試合は、台風12号による右翼から本塁への強風の下、6時50分に開始された。試合前からその球威が注目されていた三球会先発の池上投手だが、初回2三振と噂に違わぬ立ち上がりを見せると、四回までに8奪三振、1四球と強力ホーネッツ打線に付け入る隙を与えない。一方ホーネッツの川原投手も四回までに単打が2本のみと、こちら三球会を抑え込み淡々と試合が進む。動きが起きたのは五回の表。ホーネッツは矢野(雅)選手がチーム初ヒットで出塁すると、続く今田選手の投ゴロがまさかの一塁悪送球となり二死一三塁となる。絶好の先制機を掴んだホーネッツだが、続く山崎選手が倒れ先制点を挙げる事ができない。好投の池上投手に何とか報いたい三球会は六回裏、先頭渡辺選手の打球が風に押し戻されて安打となると、堺選手の犠打で二進。三番大津選手の遊ゴロが失策となる間に渡辺選手がホームインし、ついに均衡を破った。スコアレスドローの結末が予想された中、この得点シーンは試合開始後74分、残り1分で得点を挙げた三球会が貴重な勝ち点3を奪い取った。(写真・記事：塩浜ジャガーズ 高嶺 信彦)



敗れはしたが、力投したホーネッツ川原投手。



強力ホーネッツ打線を抑え込んだ三球会池上投手と藤澤捕手。





揺さぶりをかけるホーネッツ井手涼次朗選手。



五回表、チーム初ヒットで唯一のヒット、矢野(雅)選手。



五回表、二死三塁のピンチも落ち着いている藤澤捕手。



カメラ、意識してますよね？ヨシオさん？



ナイスキャッチの直後、三球会濱口中堅手。



惜しくも取れず…。



戦況を見つめるホーネッツ中村監督。



思わず笑みがこぼれる三球会山崎選手。





殊勲のヒットを放った三球会渡辺選手、と堺巖生一塁手。

## 第14週編集後記

WSLの皆さん、こんにちは！

第14週、7月29日は4試合が行われました。

奈多グラウンドの三苦フレンズ対ブルーマーリンズ戦は、二回で3点を挙げたフレンズ。先発山口投手にはこれで十分なピッチングを披露。六回裏代った太田投手を攻めて2点を挙げたブルーマーリンズだったが、やはり力の差を見せたフレンズが6-2で1敗を守った。今年もブルーマーリンズは1勝が遠いか？

青松園Bの雁の巣ライナース対奈多フェニックス戦は、2点ビハインドの五回表ライナース打線が火を噴き、粘りのフェニックス太田投手から5点を奪い逆転。その後1点差まで追いつかれるもチーム全員で守り切り5-4でライナースの勝利。フェニックスは太田投手に続くリリーフ不在が響いた。

雁レク7のソルトベイスターズ対新町ウインズ戦は、いきなり5点をリードしたソルトベイスターズの一方向的な試合かと思われたが、ウインズの反撃が始まるも一度もリードを許さなかったソルトベイスターズが9-8で逃げ切った。両チーム系23安打の乱打戦は、ソルト三番井浦選手の3安打2HR、四番野口選手の3安打1HRなど主軸の活躍が光った。ウインズは痛い連敗。

青松園Aの三苦ホーネッツ対三苦三球会戦は、強風の中壮絶な投手戦。両チーム計4安打の試合は五、六回にランナー三塁のピンチを凌いだ三球会池上投手の好投に三球会打線がきっちり機動力を使った戦術で1点を取り0-1で三球会の勝利。三球会は奈多クラブ、ホーネッツの2強に勝利し、今年のWSLを盛り上げてくれる。

8月5日から第100回夏の甲子園大会が始まります。

7月から猛暑が続き、選手だけでなく、応援席や運営側の健康状態も懸念されていますが、球児の皆さんには悔いが残らないよう全力のプレーを期待したいですね。

WSLも例年以上に熱い早朝ですが、体調管理をきちんとして、全力プレーができるように準備しましょう。